

令和7年度 公益社団法人尼崎人権啓発協会

通常総会記念講演会

阪神・淡路大震災から

30年

～忘れない「1.17」伝える

1995年1月17日、午前5時46分

道路の高架はもろくも崩れ落ち、

交通網は寸断、

人が家を失い、避難生活を強いられ、

地震災害に打ちのめされながらも、

地元紙の写真記者として現場を記録し

これまで紙面で報道してきた。

あの時、何を伝え、

伝えられなかつたのか、

写真提供:神戸市

日 時: 2025(令和7)年5月28日(水)

午後2時10分～3時30分

※総会終了後の開催となります。

場 所: 尼崎市立中央北生涯学習プラザ 小ホール
(尼崎市東難波町2丁目14-1)

参加費: 無料

申込み: 先着30人 ※手話通訳あり

テー マ: 震災の教訓を語り継ぐ

－震災報道、地元紙の役目とは－

講 師: 元・神戸新聞社写真記者 金居光由 さん

阪神・淡路大震災30年の取り組み

1995.1.17から30年、あらためて知る阪神・淡路大震災。命の大切さ、助け合う人の温かさ、今、わたしたちができていることは、当たり前ではないということ、震災を経験した人にしかわからないことが多くある、震災の経験を「伝え、聞き、語り合い、つないでいきたい」、精一杯生きることを考える機会になればと思い、震災から30年の特別講演会を行います。



金居光由 (かないみつよし)

プロフィール

1981年、神戸新聞社入社。1995年1月17日、阪神・淡路大震災が発生、社屋が被災し全壊。未曾有の被害の中、神戸新聞の震災報道が始まった。2010年1月、震災15年にフジテレビが制作したTV映画「神戸新聞の7日間」に出演。カメラマン役（萩原聖人）の一人として登場。2020年2月、震災25年にNHKドキュメンタリー番組「目撃にっぽん／被災地の新聞記者」として出演。2025年現在、神戸新聞見学担当スタッフ、デイリースポーツ契約カメラマン、神戸市教育委員会学校防災アドバイザー。校外学習の小・中学生や修学旅行生に震災当時の新聞の役割や防災・減災の大切さを『語り部』として案内している。

申込み・問い合わせ先 | 公益社団法人 尼崎人権啓発協会 尼崎市東七松町1丁目23番1号(尼崎市役所内)

TEL: 06-6489-6815 FAX: 06-6489-6818

裏面の用紙をご利用ください

(公社)尼崎人権啓発協会通常総会記念講演会

日 時：2025（令和7）年5月28日(水)



場 所：尼崎市立中央北生涯学習プラザ3階小ホール
(〒660-0892 尼崎市東難波町2丁目14-1)

時 間：午後2時10分～3時30分 ※総会終了後の開始となります。

申込方法 電話・FAXでお申込みください。

電 話 ・06-6489-6815まで、下記のフォームと同項目をお伝えください。

F A X ・下記の必要事項に記入後、FAXでお申込みください。

ファックス番号 06-6489-6818

(公社)尼崎人権啓発協会 宛て

FAX

申し込み日 年 月 日

代表者情報	フリガナ		
	お名前		
ご連絡先 電話番号			FAX番号 —
フリガナ			
参加者 お名前			
フリガナ			
参加者 お名前			
フリガナ			
参加者 お名前			
下記項目は、返信用のため、記入しないでください。			
上記の内容で受付しました。			
申し訳ありませんが、定員に達したため、受付を終了しました。			

※中止の連絡の際は、代表者の方にご連絡いたします。

※当日、災害または、警報等が出た場合、中止する場合がございます。

※ご記入頂きました個人情報については、実施する事業のために使用し、他の目的には使用いたしません。